

目 次

第1章 策定にあたって	1
1 生物多様性の重要性	1
2 戦略の背景	1
3 戦略の位置付け	2
4 戦略の対象地域	2
5 戦略の期間	2
第2章 大分県の生物多様性を取り巻く状況	3
1 生物多様性の恵みと危機	3
（1）生物多様性とは	3
（2）生物多様性の恵み	4
（3）生物多様性の危機	5
2 生物多様性の状況	7
（1）自然の概要	7
（2）野生植物の概要	7
（3）野生動物の概要	8
（4）各地域の自然の状況	9
3 生物多様性の課題	17
（1）開発等による土地利用の変化	17
（2）里地里山の荒廃	17
（3）外来種による生態系への被害	18
（4）地球規模の環境変化	18
4 生物多様性の保全と持続可能な利用	19
第3章 目標	20
第4章 行動計画	21
1 重要地域の保全	21
（1）自然公園等	21
（2）ラムサール条約湿地	24
（3）景観保全、天然記念物、名勝、文化的景観	26
（4）日本ジオパーク、ユネスコエコパーク等	28
（5）大分県版の新たな環境保全の取組	30
2 生態系ネットワークの維持・形成	31
（1）生態系ネットワークの形成	31
（2）自然環境保全と土地利用	32
（3）大規模開発と環境影響評価	33
（4）県の公共事業などにおける取組	33
3 農山漁村の持つ多面的機能の維持・再生	35

4	地域の特性に応じた保全と利用	38
(1)	森林	38
(2)	里地里山	41
(3)	河川・湿地地域	44
(4)	沿岸・海洋	47
(5)	都市	49
5	野生生物の保護と管理	50
(1)	絶滅のおそれのある種の保全	50
(2)	野生鳥獣の保護管理	54
(3)	外来種の防除	56
(4)	動物愛護と適正な管理	58
6	生物多様性の主流化の推進	59
(1)	普及啓発・広報活動	59
(2)	環境教育・学習	60
(3)	自然とのふれあい	62
(4)	人材の育成と活用	62
(5)	参画と協働による保全活動	63
7	調査・情報整備の推進	65
(1)	調査	65
(2)	情報整備・管理	67
8	地球温暖化への対応	68
第5章 戦略の推進		69
1	推進体制	69
2	各主体の役割と実践	69
(1)	県民	70
(2)	民間団体	70
(3)	事業者	70
(4)	行政	71
3	進行管理	72
(1)	生物多様性指標の設定	72
(2)	進行管理	72
<p>—資料編—</p> <p>○「生物多様性国家戦略2012-2020」と大分県の基本方針</p> <p>○生物多様性指標</p> <p>○自然環境学術調査実施状況</p> <p>○大分県文化財調査報告書一覧</p> <p>○新生物多様性おおいた県戦略（仮称）策定委員会設置要綱及び委員名簿</p>		
		74
		78
		80
		81
		82